

平成23年度 施策達成度評価シート (平成22年度実績評価)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
4	共に生き未来を創る教育・文化	45	歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用
施策主管部 教育委員会		評価者(施策統括マネージャー)名 萬 明夫	

1 施策の目的(目指す姿)

対象 (誰を,何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民 歴史的文化遺産	歴史的文化遺産を保護・活用する

2 達成度

(1)成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画 (年度目標値)	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
文化財数 (国・県・市指定)	件	↗	265	265	267	268	276
市保存建造物数	件	↗	23	23	23	23	29
アンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合	%	↗	62.10	63.00	57.40	63.00	67.00

(2)近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等
文化財数 (国・県・市指定)	秋田市所在指定文化財数256件(H22.12.31) 青森市所在指定文化財数 73件(H22.4.1) 山形市所在指定文化財数 188件(H22.3.31) 仙台市所在指定文化財数 223件(H22.3.31) 福島市所在指定文化財数 113件 盛岡市所在指定文化財数 266件(H23.3.31) (登録有形文化財を除く)
市保存建造物数	データなし (保存建造物制度は、盛岡市独自のもの。)
アンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合	データなし

3 達成度評価結果

取組内容と成果, 成果を得られた要因	建造物1件を市有形文化財に, 有形民俗文化財1件を民俗文化財に指定するとともに, 国のモデル事業による歴史・文化基本構想の策定, 指定文化財の管理者に対する維持管理費補助金の交付による維持保存, 大館町遺跡地内における外灯設置に取り組み, 文化遺産の継承に努めたほか, 「岩手銀行(旧盛岡銀行)旧本店本館」見学会などを実施し, 文化財に対する市民の理解の促進を図った。また, 国指定史跡「志波城跡」「盛岡城跡」等の整備を行い, 史跡の保護に努めるとともに, 「志波城まつり」を開催し, 史跡の活用を図った。 施設については, 当市の歴史及び文化を広く紹介するとともに「まちなか観光」の拠点施設として盛岡城跡公園内に整備中の「もりおか歴史文化館」の展示制作業務委託, 山車製作業務委託などを実施した。太田・本宮地区に集中している博物館等5施設が, 県立美術館と連携を図り, 共同でのイベントや情報発信を行い, 各施設の利用促進を図った。子ども科学館及びもりおか歴史文化館を管理運営する指定管理者の公募を行い, 両施設とも指定管理者を決定し, 平成23年4月1日から開始することとした。博物館施設の入館者数については, 増加している施設もあるが, 全体としては減少傾向にあり, 企画展等の一層の工夫が必要である。
翌年度以降の課題, その要因	主要な史跡について, 計画的な保存管理に努めるとともに, 継続的な活用を図っていく必要がある。また, 年々増加する歴史・文化資料及び情報を蓄積する手段や手狭になっている資料等の保管施設の確保が必要である。 博物館施設が連携を図ることにより, 地域における施設の認知度が向上し, 入館者の増加につながることから, 今後も関係施設との連携を強化していく必要がある。指定管理者制に移行した施設について, 市民サービスの向上と管理運営の効率化のため, 指定管理者と連携を図るとともに適切な指導を行っていく必要がある。

